



STANDARD TOKYO

2026年3月25日

各位

会社名 テクノホライゾン株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 拓伸
(STANDARD・コード 6629)
問合せ先 取締役 加藤 靖博
(電話番号 052-823-8551)

**ニデックアドバンステクノロジー株式会社との
バックドリル検査用自動X線検査装置の開発協業に関するお知らせ**

～業界最高レベルの高速検査と高精度解析を1台で実現し、データセンター市場の需要に対応～

当社は、ニデックアドバンステクノロジー株式会社（本社：京都府向日市、代表取締役社長執行役員：山崎秀和、以下、ニデックアドバンステクノロジーといたします。）とこの度、急成長する AI サーバーおよびデータセンター市場に向け、多層プリント基板のバックドリル加工を高精度かつ高速に検査する「自動 X 線検査装置（AXI）」の新製品開発に関する契約を締結したことをお知らせいたします。



2026年3月5日 ニデックアドバンステクノロジー本社（向日市）にて行われた調印式にて

（左）テクノホライゾン代表取締役社長 野村拓伸

（右）ニデックアドバンステクノロジー代表取締役社長 山崎秀和氏

記

1. 本協業の背景

近年、生成 AI の普及やデジタルトランスフォーメーション（DX）の加速に伴い、データセンターや AI サーバー市場が急速に拡大しています。これらの機器に搭載される高性能サーバーには、大容量・高速データ通信を実現するために高多層かつ高密度なプリント基板が使用されています。こうした高速伝送基板においては、スルーホール等の主要工程の出来栄が基板品質を左右する要因の一つになっており、特に「バックドリル工法」における品質検査の重要性がこれまで以上に高まっています。このような背景から、非破壊で正確、かつ量産ラインのタクトタイムに対応できる検査ソリューションが強く求められていました。

2. 開発する新製品の概要

今回開発する新製品は、量産ラインでの全数検査に対応可能な「業界トップレベルの検査速度」と、不良解析や研究開発にも耐えうる「高精度な撮像能力」を両立します。また、従来の X 線検査装置ではボトルネックとなっていた検査レシピ設定の簡素化・自動化、検査時間の短縮、検査判定の自動化などを実現することで、急増する AI サーバー需要に応える量産ラインでの運用を可能にします。

ニデックアドバンステクノロジーの持つ高精度な測定技術と、検査工程の自動化・省人化を実現するメカトロニクス技術により、装置全体のシステムインテグレーションを確立いたします。一方、当社は高感度・高解像度 X 線イメージング技術に強みを持ち、本協業では、バックドリル加工の残厚（スタブ長）をミクロン単位での可視化・計測を可能にするキー技術を提供します。両社は本製品の市場投入を通じ、AI 社会のインフラを支える高品質なエレクトロニクス製品の製造に貢献してまいります。

3. ニデックアドバンステクノロジー株式会社について

ニデックアドバンステクノロジーはニデック株式会社（東証プライム、コード番号：6594）の連結子会社です。プリント基板検査装置（導通検査、光学検査等）のリーディングカンパニーとして測定技術、メカトロニクス技術、光学・画像処理技術を核とし、半導体パッケージおよびプリント基板の検査装置分野で高い実績を有しております。

Web サイト：<https://www.nidec.com/jp/nidec-advancetechnology/>

4. 今後の見通し

本協業が当社グループの 2026 年 3 月期の連結業績に与える影響につきましては軽微である見込みですが、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

以 上